第 10 回「知的障がい者等に対する金融教育支援員セミナー」開催

平成 27 年 11 月 14 日（土）、福岡県教育会館において、ゆうちょ財団主催の「知的障がい者等に対する金融教育支援員セミナー」が開催されました。

今回のテーマは、「障がいのある人を対象に講義を行う際の基礎知識」で、講師は就労支援サービス管理責任者であり、ファイナンシャルプランナーの鹿野佐代子氏が務めました。

講座では、金銭管理を行う場合のポイントとして、お金の流れが視覚的に見やすくするキャッシュフロー表を使うこと、情報収集して支出を見直すことを挙げられました。

視覚的に見やすくするキャッシュフロー表を使うことの効果は、何が問題かがわかりやすい、早い時期に対策が立てやすい、お金が増えることがわかると人生のモチベーションが上がる、やりたいことが実現しやすいことです。

また、支出の内容について情報収集することの大切さ、必要性についても触れました。

この実践例として、講師が実際に金銭管理の支援を行った内容を具体的にお話しいただきました。大阪弁を交えてのユーモアたっぷりの講師の話に、参加者の笑いが絶えませんでした。

また、金銭管理教育を行う場合、数多くの実践経験を積むことが大切であり、ぜひ取り組んでもらいたいとの話もありました。

今回の参加者は障がいのある人の就労支援を行っている人が多かったこともあり、講師の具体的な体験談に、反応が大きかったように感じました。

セミナー終了後のアンケートでも、「金銭教育の具体的なイメージが出来てきました」「就労移行の利用年齢が 20 歳以上が多い分、学習のアプローチなどは自尊心を尊重するなどの工夫が必要だと思いました」等々、参加者の皆さんの満足度が高かったことが伺えました。

金融教育支援員向けセミナーは、次回は広島県呉市での開催（平成 27 年 12 月５日）を予定しています。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。